

# 第4回 先端医療センター *Monthly Lecture*



多くの研究機関や関連企業が集積し、クラスターとしての体制が整いつつある神戸医療産業都市における次の課題は、意見交流の場を様々な形でつくりだし、関係者の縦横の協力関係を構築し、最近の研究開発をめぐる大きな変化に対応する体制を作り上げることです。その一つの試みとして、優れた研究者による講演会を定期的に開催し、交流、協力関係構築のきっかけを提供したいと考えております。

学会や交流会は盛んに行われており、最新のトピックスを伺う機会は豊富にありますが、優れた研究者の一連の研究の歩みや領域全体の研究の流れを伺う機会は多くはありません。そこで、本レクチャーシリーズでは優れた研究者をお招きし、十分な時間を持って一連のストーリー、考え方、研究に対する思い入れをお話しいただきます。

先端医療センター長 鍋島 陽一

## 日時・場所

2011年11月18日（金） 16:30～18:30

臨床研究情報センター（TRI）第1研修室

※参加費は無料です。

## ■講師

田中 啓二先生

財団法人東京都医学総合研究所 所長



## ■講演タイトル

プロテアソームを基軸とした  
タンパク質分解研究

## ■講演内容

高齢化社会を迎えた今日、タンパク質分解の破綻に伴って発症する疾病が急増しており、タンパク質分解の生理と病態に関する研究の重要性は、拡大の一途を辿っている。真核生物には二つの大規模なタンパク質分解（リサイクル）系、即ちユビキチン・プロテアソームシステムとオートファジー・リソームシステムが存在する。われわれは約30年前にタンパク質分解の目印（プロテアソームへの輸送シグナル）として作用するユビキチンが発見された頃（2004年ノーベル賞）から、そのパートナーであるプロテアーゼの研究を開始し、プロテアソームと名付けた巨大で複雑なタンパク質分解装置を発見、その分子から固体レベルに至る研究を包括的に展開してきた。本講演では、プロテアソームの構造と機能に関する研究を概説とともに、最近、関連研究として手がけているオートファジー（自食作用）についてもUp-to-dateな話題を提供したい。

## ■お申込み

①参加を希望される方は、事前にEメール ([qanda@fbri.org](mailto:qanda@fbri.org)) にて、お名前・ご所属・メールアドレスをお知らせ下さい。

②当日参加の方も歓迎です。

③事前申込をいただいた方には、今後の「先端医療センターMonthly Lecture」のご案内をはじめ、当財団からのシンポジウムや講演会等のご案内をお送りさせて頂きたく存じます。連絡不要の方はお手数ですが、その旨お知らせください。

## ■お問い合わせ先

Mail:[qanda@fbri.org](mailto:qanda@fbri.org)

TEL:078-306-0708

主催 財団法人先端医療振興財団

協力 神戸医療産業都市構想研究会